

2023年度
活動レポートあなたへ届ける 
Love Letter  こまめちゃん

mama café

〈子育て支援事業〉

今年度はお下がり交換会を3回開催、11月はえにわ子育て応援隊主催の子育て応援フェスにて、初の祝日開催&出展という形で行いました。延べ参加人数は315名と、沢山の方にご参加いただきました。リユースが難しい衣服は古着deワクチンを活用。実行委員会は育児中のママばかりです。ご協力いただける方やご興味のある方はお問い合わせ下さい。

また、恵庭市教育委員会社会教育課と協働で恵庭市家庭教育ナビゲーター「はびナビネットワーク」を支援しており、「孤独な子育てにならないように」という想いのもと、ナビゲーターと共にママカフェを開催し情報交換の場や居場所を提供しています。

10月には**家庭教育サポート企業等制度の協定**を締結しました。まちスポの中からも子育てしやすいまちづくりを進めていきます。



みんなのガーデンプロジェクト2023

〈花のまちづくり推進事業〉

みんなのガーデンプロジェクトは、花のまちづくりの推進を目的に活動しています。フレスポ恵み野の正面に広がる“めぐみの丘”を主な活動場所に、内倉真裕美氏を講師に迎え、ボランティアグループムーミンさんや学生ボランティアの協力を得て、コミュニティガーデンを運営しています。

2023年度は、高原環境財団助成金を活用した子どもへの環境教育講座「育ててみよう！花とオモシロ野菜」や花の活用イベント「アナベルのポールブーケを作ろう」を開催し、105名が参加しました。循環型ガーデンを目指し、バイオネストも製作しました。また、恵庭市花のまちづくり推進会議や美しい恵み野花のまちづくり推進協議会にも参画。来場者が7万人を超えた恵庭花と暮らし展実行委員会にも参加しました。

今後も花のまちづくりに関わる人たちの裾野を広げていきます。



◆ 備品レンタル ◆ 〈貸館事業〉

認定こども園 幼稚舎 えるむ 作品展示

3月8日から4日間、フレスポ恵み野催事スペースで幼稚舎えるむさんによる子どもたちの作品展示が行われました。自分が作った作品を見に来る子どもたちで賑わっていました。素敵な飾りつけも施され、通行者も足を止めて作品を見る方が大勢いらっしゃいました。会場にてまちスポ恵み野の貸出パネルなどをご利用頂きました。



★ 交流スペース利用 ★ 〈自主事業〉

クリスマス製作inまちスポ恵み野

恵庭市内で育児教室をされている「tetteもみじ」の岡田さんにご協力いただき、まちスポ交流スペースにて0～2歳向けのクリスマス製作イベントを、12月に計3回開催しました。足型を取った後は空いている箇所に色を塗ったり、シールや岡田さんお手製の可愛いパーツを装飾したり、可愛い作品が出来上がりました。





〈対話によるまちづくり推進事業〉

対話によるまちづくり推進事業では、コミュニティスクールの活性化を目的とするコミスクPLUS事業と対話の場の創出を目的とするファシリテーション事業があります。コミスクPLUSでは、恵庭市教育委員会と協働で「コミスクかふえ」を開催しています。2023年度に4回開催したコミスクかふえでは、学校の枠を超えた学び合いを目的に、講演だけでなく市内小中学校の事例発表を実施しました。また、熟議の実践を体験することで、コミスクの活性化につなげています。

さらに、映画「夢みる小学校」の上映会と感想シェア会も開催し、様々な方のコミスクへの関心を高めました。

ファシリテーション事業では、恵庭市企画課からの委託を受け、まちづくり基本条例市民検討委員会の進行支援とシンポジウムの企画運営支援を市民ファシリテーターグループ「ファシらさるチームアジト」の協力を得て実施しました。事業全体で347名の参加があり、札幌市や千歳市等からの視察も受け入れられました。今後も様々な場面で対話によるまちづくりを推進していきます。



Smileハウス 〈子どもの生活・学習支援事業〉

子どもの生活・学習支援事業は2019年度から恵庭市の委託を受け、まちスポ恵み野交流スペースで実施しています。居場所を必要としている子どもたちのため、毎週土曜日、12時から14時半に17名が利用しています。食事ボランティア、教員OB、学習ボランティア計32名にご協力いただき、今年度は43回開催しました。

また、今年度は新たに10名の子どもたちがSmileハウスに新規登録しました。

さらに、北海道文教大学人間科学部こども発達学科など学生ボランティアが率先してレクリエーションなどを企画、運営しています。今年度は短冊飾りやクリスマス会を実施しました。外部講師をお招きして「パステルアート体験」も行いました。

Smileハウスは子どもたちのサードプレイスとして今後も活動を継続していきます。



広報・メディア 〈広報事業〉

今年度より地域FM放送e-niwaでラジオ番組「こまめちゃんねる」が始まりました。隔週火曜日の午前10時から10時30分まで放送しています。番組内では地域の活動を応援、紹介しゲストをお呼びしながら毎月のトークテーマに沿ってまちスポスタッフが進行しています。

また、今年度は、まちスポ恵み野の会報「Love Letter」を6月、10月、3月に発行しました。2024年度は年4回の発行、並びに電子発行も行います。プレスポ恵み野イベントスペースのチラシラックにもございますので、お気軽にお手に取ってお持ち帰りください。事務局内にも、市内のイベント情報が掲載されているチラシやまちスポ恵み野で開催されるイベントなどのチラシもございます。

現在、SNSにも力を入れており「Instagram・X(旧Twitter)・Facebook」を運営しています。ぜひ、フォローしてイベントの最新情報や活動報告をチェックしてください。



フードバンク 〈フードバンク事業〉

私たちは、今年度から企業・団体・個人の皆さまからご寄付頂いた食品や日用品を、必要な方へお届けする「フードバンク事業」にも力を入れ、3月末時点で延べ2,500点を超えるご寄付を頂き、約130名の個人、他団体に提供いたしました。

恵庭市は生活困窮者、ひとり親世帯、在住外国人が近隣都市に比べて群を抜いて多く、日々の食生活に困っている方が多いというデータがあります。

(出典：恵庭市ホームページより「恵庭市の保護受給者」、「恵庭市の子どもと家族の家庭生活や経済状況」、「令和5年度恵庭市多文化共生アンケート結果」/令和2年度千歳市人口ビジョン、令和5年度北広島市外国人国籍別人口数)

そこで私たちは11月に「多文化共生フェスタatえにわ」へ出展し在住外国人の方へ食品等の提供をいたしました。さらに、災害中間支援NPOと連携し、能登半島沖地震で被災された方の炊出し用物資支援にも貢献しました。

2023年度の累計取扱量は2トンを超えましたが、必要な方へ十分に支援が行き届いていません。ご寄付いただいた方への感謝の意を大切に今後も行政・企業・団体との連携強化と普及活動により、支援を必要とされている方々の力になれるよう努めていきます。



防災ウィーク 〈防災啓発事業〉

防災月間の9月、防災意識啓発のため1週間「防災ウィーク」を開催しました。フレスポ恵み野イベントスペースでは、防災パネル、「令和5年度恵庭市総合防災訓練」の写真や、防災グッズ品の展示を実施。恵庭市基地防災課と協働で、仮設テント、段ボールベッド、簡易トイレの体験コーナーを設け、多くの方々に避難所体験をしていただきました。延べ500人の参加がありました。

2018年の「胆振東部地震」ではブラックアウトと呼ばれる大規模停電が起きました。この経験を忘れないように、地域の方々と協力をしながら燈籠を作成し、9月2日の夕刻に点灯を行いました。燈籠原画は前年を上回る200枚以上が集まり、めぐみの丘が明かりに包まれました。灯しているろうそくは恵み野の福祉事業所で作成している再生ろうそくを使用しています。



今年度の Topics



とやまささえあい基金の設置

このたびの能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。能登半島地震を受け、胆振東部地震でのブラックアウトを経験した私たちは何ができるのだろうかと考えました。

そして、富山県にある「まちスポとやま」が立ち上げました【令和6年 能登半島地震 富山県災害支援金「とやまささえあい基金」】に賛同し、募金箱の設置をさせて頂きました。こちらは富山県内における被災者支援をおこなうNPO団体に向けた支援金として活用されます。

まちスポ恵み野の受付に設置を行うほか、多くの方が集まる会場へ持参し支援金を募るなどスタッフが積極的に呼びかけを行いました。

その結果、3月18日(月)までに支援金額 10,670円が集まりました。ご支援を賜りました皆様、本当にありがとうございました。

私たちは今後もまちのため、地域の皆様の幸せな暮らしを実現すべく、他まちスポ同士と支え合い・協力しながら活動して参りたいと思います。





認定NPO法人まちづくりスポット恵み野は「誰もがずっと幸せに暮らせるまちづくり」を目指して活動をしています。中間支援NPOとして様々な地域課題と向き合い、活動する市民や市民活動団体を支援しています。誰もがずっと幸せに暮らせる社会をつくるために私たちは今、何をすべきか考え、活動をしています。



賛助会員とは…

「認定NPO法人まちづくりスポット恵み野」の活動に賛同し会員登録と一定額の寄付をしてくださる会員のことで。個人と法人で寄付額が異なり、継続会員となります。さらに、認定NPO法人へ寄付をおこなうことで、寄付をおこなう方の税負担が軽くなる「税制上の優遇措置」を受けることができます。いつご入会いただいても当該年度末まで会員となります。

賛助会員 1口 個人 3,000円 団体・法人 5,000円

【北洋銀行】

※恐れ入りますが、振込手数料は会員様のご負担をお願いいたします。

支店：恵庭中央支店恵み野出張所

口座番号：普通預金 3996746

口座名：認定NPO法人 まちづくりスポット恵み野 理事 森内 潤一

【ゆうちょ銀行から】

口座記号番号：02700-7-49271

口座名：NPO法人 まちづくりスポット恵み野

【他行から】

店名：二七九 店

預金種目：当座

口座番号：0049271

この度、オンライン寄付決済にて賛助会員費の手続きができるようになりました。銀行振込のほか新たにクレジットカード決済、Apple Pay・Google Payにてご寄付いただくことができます。

詳細につきましては右記、QRコードを読み込みアクセスをお願いします。

また、現金でのご寄付を希望される方はご足労をおかけしますが“まちスポ恵み野受付”までお越しくださいますようよろしくお願い申し上げます。

congrant QRコード



日頃よりご支援・ご利用いただいている皆様


ご支援いただいている皆様

- 株式会社島田農園
 - 株式会社ehome
 - 株式会社きゅろっと
 - 株式会社三共水道設備 恵庭支店
 - 北海道総合保険株式会社
 - 株式会社メディアコム
 - 社会保険労務士法人シェルパ
 - 防災したっけ
 - 恵み野里美町内会
 - 北海道ハイテクノロジー専門学校
 - 認定こども園幼稚園舎えるむ
 - 恵み野ファミリー歯科
 - ひかりサロンにて恵庭
 - メガネサロンルック フレスポ恵み野店
 - 恵庭花のまちづくり推進会議
 - 地域FM放送e-niwa
 - NPO法人市民プラザアイル
 - NPO法人おはな
 - NPO法人まちづくりスポット仙台
 - NPO法人アクションタウンラボ
 - NPO法人まちづくりスポット大津
 - NPO法人まちづくりスポット茅ヶ崎
 - NPO法人まちづくりスポット稲毛
 - 大和リース株式会社
- ほか個人賛助会員さま (順不同 敬称略)

ご利用いただいている皆様

- 菜々倶楽部
 - Dr.ツクルのアート工作教室
 - 社会福祉法人 恵庭光風会
 - 恵庭山研きのこの会
 - 寿泉書道サークル
 - パッチワーク&布小物 アザレア会
 - 恵庭オーキッド倶楽部
 - 日本保健福祉ネイリスト協会 札幌校
 - ランドマークエンターテイメント株式会社
 - NPO法人陽だまりの家
 - ファシラさるチーム アジト
 - 恵庭市選挙管理委員会
 - 恵庭市教育委員会教育部社会教育課
- ほか個人利用会員さま (順不同 敬称略)



認定NPO法人
まちづくりスポット恵み野 
〒061-1376
北海道恵庭市恵み野里美2-15 (フレスポ恵み野内)
TEL 0123-39-2232 / FAX 0123-39-2227
Mail machispo.megumino@gmail.com
開館時間 9:30~17:30 休館日 祝日、お盆、年末年始

